

登録コード	SGQ02900	開講年度	2026				
授業題目	数学科指導法				担当教員	志津 千代子	
英文授業名	Teaching Methods of Mathematics II				副担当	小山 茂喜	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・3時限	対象学年	2年
講義室	理学部第13講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	学習指導要領を確認したり、教科書分析を行ったりすることを通して、授業設計の観点や教材研究の方法を学び、単元計画や学習指導案を作成し模擬授業を行うことで、授業設計や指導のあり方について、実践的に学ぶ。						
(5)授業のキーワード	教科書分析・教材研究・授業設計・模擬授業・教育評価						
(6)授業計画	授業計画 第1回：数学科の内容構成(教科書分析を含む) 第2回：数学科の授業論(1)様々な学習理論 第3回：数学科の授業論(2)ICTの活用を含む数学的活動について 第4回：教材研究(「数と式」領域の具体例の検討) 第5回：教材研究(「図形」領域の具体例の検討) 第6回：教材研究(「関数」領域の具体例の検討) 第7回：教材研究(「データの活用」領域の具体例の検討) 第8回：授業設計(「数と式」領域の具体例の検討) 第9回：模擬授業(「数と式」領域の具体例の検討) 第10回：授業設計(「図形」領域の具体例の検討) 第11回：模擬授業(「図形」領域の具体例の検討) 第12回：授業設計(「関数」領域の具体例の検討) 第13回：模擬授業(「関数」領域の具体例の検討) 第14回：授業設計(「データの活用」領域の具体例の検討) 第15回：模擬授業(「データの活用」領域の具体例の検討)及び「授業のふりかえり」の入力						
(7)成績評価の方法	発表の仕方、その内容、レポートの内容および受講態度などを総合評価する。						
(8)成績評価の基準	()講義内容の理解 ()当日に課された課題レポートの内容 ()教材の内容 ()作成した学習指導案の内容 ()発表(プレゼンテーション)の仕方 ()積極性等の授業での取り組み状況 のいずれにおいても達成目標で想定したレベル以上であれば「卓越している」、5項目までできていれば「かなり上にある」、4項目までできていれば「やや上にある」、3項目までできていれば「合格水準にある」。						
(9)事前事後学習の内容	毎回の授業の最後に、当日の授業内容の理解を問う課題や次回の授業内容につながる課題を出す。次回の授業の冒頭で課題用紙を回収し、内容等を含め取り組み状況をチェックする。併せて、取り組み内容について、幾名かの受講生に説明をしてもらうので、記載内容についてきちんと説明できるようにしておくことが求められる。また、「教材研究と指導案作成」の授業を受講する際には、事前に教科書等で指導内容について一通り目を通しておくことが望ましい。						
(10)履修上の注意	教職科目で数学の免許を取得する場合は必修						
(11)質問,相談への対応	授業日の授業時間外に教職相談室にて質問・相談を受け付ける。 授業終了後、時間的な余裕があれば、そのまま講義室でも質問や相談への対応は可能。						
【教科書】	「中学校学習指導要領(平成29年告示)」「高等学校学習指導要領(平成30年告示)」「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 数理編」(文部科学省)						
【参考書】	『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 数学』国立教育政策研究所(令和2年)、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校 数学』国立教育政策研究所(令和3年)						